

日本海をホームグラウンドにしている岐阜の方の艦装例です。

2010.06.19

ボートは、ホープ ファンフィッシャー385LC スズキ15馬力との事です。

ボートには、いろいろな種類がありますので

RT55SP/APを取付ける為の工夫が感じられる良い事例と思います。

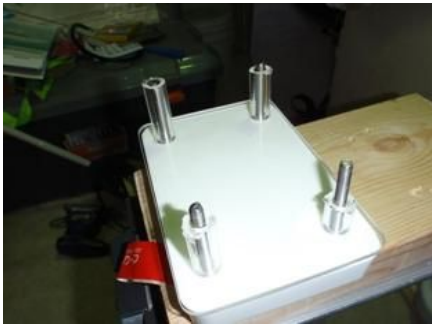
NEOのようにバウカバーがしっかりした船なら足に取り付けた下の板は無しでも取り付け可能です。

最初にアクリルの板をクイックリリースマウントの大きさにカットします(アクリルの板は5ミリ使用)



厚さが心配ならもう少し厚い板を使って下さい  
5ミリでも大丈夫ですが・・・  
後は気持ちの問題で。

次にアクリルのパイプをカットして板にボルト(M6)が通る穴を開け  
パイプを板に接着します。



パイプが短すぎると作直しに成るので注意  
長いのは合わせてカットすればOKです。  
(カットし過ぎも注意)

一番大事な工程だと思います。

慎重に

この作業でエレキの位置、角度、決まります

パイプが完全に接着したら、バウカバーに乗せてサイズを合わせカットして行きます  
(大体の長さにカットして微調整はペーパーで削ります 補強で足にパテを盛ります)



私のボートはバウカバーが薄いため  
パイプの下にも板を取り付けました

- ・これは重要な事ですので参考にして下さい。
- ・安価なプラ製のまな板を私は推奨してます。

NEOなどのバウカバーがしっかりした  
ボートならバウカバーに直接パイプでも  
大丈夫だと思います。

天井の張りなどで吊って作業すると楽です。何度も位置を確認してバウカバーに穴を開けボルト締めして  
終わりです。



エレキを乗せました



見る人が見れば分かると思いますが、クイックリリースマウントの位置が前後逆です。これは、マウント台を取り付けるのにこれ以上前に出すとかなりの角度で下へ落ち込んでいますのでパイプの足を乗せて留めるのが困難と判断したからです。



使用した感想

装着後の試運転です。

まず、ストッパーを外しながらシャフトをスライドさせて海へ下す訳ですが、最初が少し外しにくい(硬い)感じがしますが、慣れれば問題ないです。

- ・これは両手で押さえて体重をかけてグッと押せばストッパーから簡単に外せます。
- ・片手で中途半端な力ですとストッパーの上に半分乗っているという状態になります。

試運転した日は風も微風で潮もあまり動いて無い日でした

最初にエギングでの流し釣りでアンカーを入れずにポイントに止まっていられるか良い感じです・・・潮が速いとき風が強いときはこれから試してみたいと思いますが、こつは多少要りますが中々良い感じです。

ポイントの小移動、船の向きを変える時とても便利です。

音も静かたので◎

今回、風が微風でしたので、良く試せ無かったんですが、エギングの様に岸の近くでする釣りは風向きが良く変わりますその時の操作は、結構気を使わなければいけない気がします。